

NHK出版『ダビデの星を見つめて—体験的ユダヤ・ネットワーク論』主要参考文献

1	はじめに ウクライナ危機を考える 視界としてのユダヤ・ネットワーク	『「ユダヤ」の世界史—神教の誕生から民族国家の建設まで』 臼杵陽著、作品社、2019年
2		『ウラジーミル・プーチンの大戦略』 アレクサンドル・カザコフ著、佐藤優監訳、原口房枝訳、東京堂出版、2021年
3		『ウラジーミル・プーチンの頭のなか』 英語版原著2017年、ミシェル・エルチャニノフ著、小林重裕訳、すばる舎、2022年
4		『ギリシャ正教』 高橋保行著、講談社学術文庫、1980年
5		『ギルガメシュ叙事詩』 矢島文夫訳、筑摩書房、1998年
6		『教養としての神道—生きのびる神々』 島薙進著、東洋経済新報社、2022年
7		『現代ロシアの軍事戦略』 小泉悠著、ちくま新書、2021年
8		『コンスタンティヌスーその生涯と治世』 原著1998年、ベルトラン・ランソン著、大清水裕、白水社文庫クセジュ、2012年
9		『死海文書—発見から75年後の真実 ナショナル ジオグラフィック別冊』 ナショナルジオグラフィック編、日経ナショナル ジオグラフィック、2022年
10		『真理の語り手—アーレントとウクライナ戦争』 重田園江著、白水社、2022年
11		『聖書—新改訳2017』 新日本聖書刊行会翻訳、いのちのことば社、2017年
12		『旧約聖書〈戦い〉の書物』 長谷川修一著、慶應義塾大学出版会、2020年

13	『箴言』 モーゼ5書
14	『聖書時代史 旧約篇』 山我哲雄著、岩波現代文庫、2003年
15	『ゼレンスキーの真実』 原著2022年、レジス・ジャンテ/ステファヌ・シオアン著、岩澤雅利訳、河出書房新社、2022年
16	『ゼレンスキーの素顔—眞の英雄か、危険なポピュリストか』 原著2022年、セルヒー・ルデンコ著、安藤清香訳、アンドリー・グレンコ解説、PHP、2022年
17	『大中華圏—ネットワーク型世界観から中国の本質に迫る』 寺島実郎著、NHK出版、2012年
18	『みんな大好き陰謀論』 内藤陽介著、ビジネス社、2020年
19	『ファシズムとロシア』 原著2021年、マルレーヌ・ラリュエル著、浜由樹子訳、東京堂出版、2022年
20	『プーチン戦争の論理』 下斗米伸夫著、集英社インターナショナル、2022年
21	『ユダヤ人とユダヤ教』 市川裕著、岩波新書、2019年
22	『ユダヤ人とローマ帝国』 大澤武男著、講談社現代新書、2001年
23	『ユダヤ人の歴史』 原著1954年、シーセル・ロス著、長谷川真・安積銳二訳、みすず書房、1966年（1997年新装版）
24	『ユダヤ人の歴史と思想』 黒川知文著、ヨベル、2018年
25	『ユニオンジャックの矢—大英帝国のネットワーク戦略』 寺島実郎著、NHK出版、2017年

26	『ロシア正教の千年一聖と俗のはざまで』 廣岡正久著、NHK出版、1993年、講談社学術文庫、2020年
27	序章 ユダヤへの基本考察 『一神教の起源ー旧約聖書の「神」はどこから来たのか』 山我哲雄著、筑摩選書、2013年
28	『イエスの生涯』 原著1863年、エルネスト・ルナン著、忽那錦吾・上村くにこ訳、人文書院、2000年
29	『岩波 キリスト教辞典』 大貫隆・名取四郎・宮本久雄・百瀬文晃編、岩波書店、2002年
30	『現代思想六月臨時増刊号 第五〇巻第六号総特集＝ウクライナから問うー歴史・政治・文化』 樋田祐一郎編集、青土社、2022年
31	『コンスタンティヌスーその生涯と治世』 原著1998年、ベルトラン・ランソン著、大清水裕訳、白水社文庫クセジュ、2012年
32	『サピエンス全史上・下 文明の構造と人類の幸福』 原著2011年、ユヴァル・ノア・ハラリ著、柴田裕之訳、河出書房新社、2016年
33	『さらば、神よー科学こそが道を作る』 原著2019年、リチャード・ドーキンス著、大田直子訳、早川書房、2020年
34	『使徒パウロー伝道にかけた生涯 新版』 佐竹明著、新教出版社、2008年
35	『宗教の世界史 7－ユダヤ教の歴史』 市川裕著、山川出版社、2009年
36	『シュメールー人類最古の文明』 小林登志子著、中公新書、2005年
37	『人類と神々の4万年史 上・下』 原著2018年、ニール・マクレガー著、高里ひろ訳、河出書房新社、2022年
38	『聖書時代史ー旧約篇』 山我哲雄著、岩波現代文庫、2003年

39	『聖書の研究シリーズ51 初期キリスト教とユダヤ教—ヨハネ福音書研究の諸問題』 土戸清著、教文館、1999年
40	『日本神話と同化ユダヤ人』 田中英道著、勉誠出版、2020年
41	『人間と宗教—あるいは日本人の心の基軸』 寺島実郎著、岩波書店、2021年
42	『パウロ—十字架の使徒』 青野太潮著、岩波新書、2016年
43	『ホモ・デウス 上・下 テクノロジーとサピエンスの未来』 原著2015年、ユヴァル・ノア・ハラリ著、柴田裕之訳、河出書房新社、2018年
44	『ユダとは誰か—原始キリスト教と『ユダの福音書』の中のユダ』 荒井献著、講談社学術文庫、2015年
45	『ユダヤの神話伝説』 デイヴィッド・ゴールド斯坦著、秦剛平訳、青土社、1992年
46	『ユダヤ教 キリスト教 イスラーム—神教の連環を解く』 菊地章太著、ちくま新書、2013年
47	『ユダヤ教 改訂新版 一シリーズ世界の宗教』 原著2002年、マルサ・モリスン、スティーヴン・F・ブラウン著、秦剛平訳、青土社、2004年
48	『ユダヤ教の基本』 原著1947年、ミルトン・スタインバーグ著、山岡万里子・河合一充訳、手島勲矢監修、ミルトス、2012年
49	『ユダヤ教の精神構造 増補新装版』 市川裕著、東京大学出版会、2020年（初版2004年）
50	『ユダヤ教史—聖書の民の歴史』 石田友雄著、山川出版社、2013年
51	『ユダヤ人、世界と貨幣—神教と経済の4000年史』 原著2002年、ジャック・アタリ著、的場昭弘訳、作品社、2015年

	52	『ユダヤ人の起源—歴史はどのように創作されたのか』 シュロモー・サンド著、高橋武智監訳、佐々木康之・木村高子訳、ちくま学芸文庫、2007年
	53	『ユダヤ人埴輪があった！—日本史を変える30の新発見』 田中英道著、育鵬社、2019年
	54	『日本にやって来たユダヤ人の古代史』 田中英道著、文芸社、2022年
	55	『ユダヤ人—その信仰と生活』 原著1981年、アラン・ウンターマン著、石川耕一郎・市川裕訳、筑摩書房、1983年
	56	『ユダヤ人—なぜ、摩擦が生まれるのか』 原著1922年、ヒレア・ベロック著、中山理訳、祥伝社、2016年
	57	『ユダヤ人問題によせて—ヘーゲル法哲学批判序説』 原著1844年、カール・マルクス著、城塚登訳、岩波文庫、1974年
	58	『わが闘争』 アドルフ・ヒトラー著、1925～26年
第一章 ユダヤとの出会い	59	『〔増補改訂版〕パウロの生涯と神学』 朴憲郁著、教文館、2021年
	60	『「私たちの世界」がキリスト教になったとき—コンスタンティヌスという男』 原著2007年、ポール・ヴェーヌ著、西永良成・渡名喜庸哲訳、岩波書店、2010年
	61	『Jerusalem The Biography』 サイモン・セバーグ・モンテフィオーレ著、Vintage、2012年
	62	『イエスとパウロ—キリスト教の土台と建築家』 G・タイセン著、日本新約学会訳、教文館、2012年
	63	『イスラーム思想史』 井筒俊彦著、岩波文庫、1975年
	64	『共観福音書が語るユダヤ人イエス』 共観福音書研究エルサレム学派編著、有馬七郎・河合一充訳、ミルトス、2016年

65	『古代オリエント史講義—シュメールの王権のあり方と社会の形成』 前田徹著、山川出版社、2020年
66	『古代オリエントの歴史』 小川英雄著、慶應義塾大学出版会、2011年
67	『さまよえる猶太人』 芥川龍之介著、新潮、1917年
68	『死海のほとり』 遠藤周作著、新潮社、1973年
69	『死海文書のすべて』 原著19994年、ジェームス・C・ヴァンダーカム著、秦剛平訳、青土社、1995年
70	『宗教の世界史8 キリスト教の歴史1—初期キリスト教～宗教改革』 松本宣郎編、山川出版社、2009年
71	『宗教の世界史9 キリスト教の歴史2—宗教改革以降』 高柳俊一・松本宣郎編、山川出版社、2009年
72	『宗教の世界史10 キリスト教の歴史3—東方正教会・東方諸教会』 高柳俊一・松本宣郎編、山川出版社、2013年
73	『増補新版 ユダヤ世界に魅せられて』 広瀬佳司著、彩流社、2020年
74	『東洋哲学覚書 意識の形而上学—『大乗起信論』の哲学』 井筒俊彦著、中央公論社、1993年
75	『ロシア的人間』 井筒俊彦著、弘文堂、1953年
76	『日本人とユダヤ人』 イザヤ・ベンダサン著、角川ソフィア文庫、1971年
77	『日本人とユダヤ人』 イザヤ・ベンダサン著、山本書店、1970年

	『パウロの福音を生きる－ローマ人への手紙5章～8章4節講解』 鞭木由行著、いのちのことば社、2021年
	『パレスチナ現代史 聖地から石油へ』 原著1973年、ジョン・キムチ著、田中秀穂訳、時事通信社、1974年
	『ユダヤの商法－世界経済を動かす』 藤田田著、ベストセラーズ、1972年
	『ユダヤ人はなぜ優秀か－その特性とユダヤ教』 手島佑郎著、サイマル出版会、1979年
第二章 アメリカとユダヤ	『アメリカのユダヤ人－ある民族の肖像』 原著1985年、C・E・シルバーマン著、武田尚子訳、サイマル出版会、1988年
	『格言集』 デジデリウス・エラスムス著、1500年
	『国際ユダヤ人－現代によみがえる自動車王ヘンリー・フォードの警告 キーワードは「分裂」と「混沌」-諸国民を陥れよ!』 原著1920～1922年、ヘンリー・フォード著、島講一編・訳、徳間書店、1993年
	『種の起源』 チャールズ・ダーウィン著、1859年
	『痴愚神礼賛』 デジデリウス・エラスムス著、1509年
	『バビロニア－われらの文明の始まり』 原著1994年、ジャン・ボッテロ著、松本健監修、南條郁子訳、創元社、1996年
	『光の画家 レンブラント』 原著1967年、レナー・クリューガー、相沢知子・鈴木久仁子訳、エディションq、1997年
	『レンブラントのユダヤ人－物語・形象・魂』 原著2003年、スティーヴン・ナドラー著、有木宏二訳、人文書館、2008年

90	第三章 欧州のユダヤ人	『アンネの日記』 アンネ・フランク著、1947年
91		『オデッサ・ファイル』 原著1972年、フレデリック・フォーサイス著、篠原慎訳、角川書店、1974年
92		『旧約聖書』（『申命記』）
93		『駐独大使・大島浩』 鈴木健二著、芙蓉書房、1979年
94		『トマス・グラバーの生涯—大英帝国の周縁にて』 原著2008年、マイケル・ガーテナ著、村里好俊・杉浦裕子訳、岩波書店、2012年
95		『富の王国・ロスチャイルド—ロスチャイルド一族の歴史から学ぶ上手なお金の生かし方』 池内紀著、東洋経済新報社、2008年
96		『盗まれた情報：ヒトラーの戦略情報と大島駐独大使』 原著1993年、カール・ボイド著、左近允尚敏訳、原書房、1999年
97		『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』 原著1905年、マックス・ウェーバー著、大塚久雄訳、岩波文庫、1989年
98		『ベニスの商人』 1594～1597年、脚本ウィリアム・シェイクスピア
99		『ホロコーストーナチスによるユダヤ人大量殺戮の全貌』 芝健介著、中公新書、2008年
100		『ユダヤ人、世界と貨幣—神教と経済の4000年史』 原著2002年、ジャック・アタリ著、的場昭弘訳、作品社、2015年
101		『ユダヤ人とイギリス帝国』 度会好一著、岩波書店、2007年
102		『ユダヤ人とフリーメイソン—西欧文明の深層を探る』 原著1970年、ヤコブ・カツ著、綾部恒雄監修、大谷裕文訳、三交社、1995年

103	『ユダヤ人と経済生活』 原著1911年、ヴェルナー・ゾンバルト著、金森誠也訳、講談社学術文庫、2015年
104	『ヨーロッパの霸権とユダヤ人』 度会好一著、法政大学出版局、2010年
105	『離散するユダヤ人—イスラエルへの旅から』 小岸昭著、岩波新書、1997年
106	『ロスチャイルド王国』 原著1992年、フレデリック・モートン著、高原富保訳、新潮選書、1975年
107	第四章 ロシア・ウクライナと東方ユダヤ人
108	『BLACK SEA : Coast and Conquests: From Pericles to Putin』 ニール・アシャーソン著、VINTAGE BOOKS、2011年
109	『アメリカ・キリスト教入門』 大宮有博著、キリスト新聞社、2022年
110	『インド・ユダヤ人の光と闇—ザビエルと異端審問・離散とカースト』 徳永恂・小岸昭著、新曜社、2005年
111	『海のロシア史・ユーラシア帝国の海運と世界経済』 左近幸村著、名古屋大学出版会、2020年
112	『エルサレムの20世紀』 原著1996年、マーティン・ギルバート著、白須英子訳、草思社、1998年
113	『大いなる失敗—20世紀における共産主義の誕生と終焉』 原著1989年、ズビグネフ・ブレジンスキ著、伊藤憲一訳、飛鳥新社、1989年
114	『外交<上巻>』 原著1994年、ヘンリー・A・キッシンジャー著、岡崎久彦監訳、日本経済新聞社、1996年
115	『外交<下巻>』 原著1994年、ヘンリー・A・キッシンジャー著、岡崎久彦監訳、日本経済新聞社、1996年
	『ガリツィアのユダヤ人【新装版】—ポーランド人とウクライナ人はざまで』 野村真理著、人文書院、新装版初版2022年

116	『牛乳屋テヴィエ』 原著1894年、ショレム・アレイヘム著、西成彦訳、岩波文庫、2012年
117	『黒海地域の国際関係』 六鹿茂夫編、名古屋大学出版会、2017年
118	『ジャッカルの日』 原著1971年、フレデリック・フォーサイス著、篠原慎訳、角川文庫、1979年
119	『宗教・地政学から読むロシア「第三のローマ」をめざすプーチン』 下斗米伸夫著、日本経済新聞出版社、2016年
120	『新版 世界各国史20 ポーランド・ウクライナ・バルト史』 伊藤孝之・井内敏夫・中井和夫編、山川出版社、1998年
121	『新版 世界各国史 22 ロシア史』 和田春樹編、山川出版社、2002年
122	『スラヴの十字路—新装増補版』 嵐田浩吉著、里文出版、新装増補版第一刷2022年（2013年初版）
123	『中国・開封のユダヤ人』 小岸昭著、人文書院、2007年
124	『ツアーリと民衆—ロシア神話の研究』 原著1961年、マイケル・チェルニャーフスキイ、中村正己訳、論創社、2021年
125	『脳力のレッスン—正気の時代のために』 寺島実郎著、岩波書店、2004年
126	『ひよわな花・日本—ブレジンスキイの日本論』 原著1972年、ズビグネフ・ブレジンスキ著、大朏人一訳、サイマル出版会、1972年
127	『プーチンとロシア人』 木村汎著、潮書房光人新社、2020年
128	『ユダヤ人—なぜ、摩擦が生まれるのか』 原著1922年、ヒレア・ベロック著、中山理訳、祥伝社、2016年

129	『歴史の中のロシア革命とソ連』 塩川伸明著、有志舎、2020年	
130	『ローマとエルサレム』 モーゼス・ヘス著、1862年	
131	『ロシア革命100年の謎』 亀山郁夫×沼野充義著、河出書房新社、2017年	
132	『ロシアと黒海・地中海世界一人と文化の交流史』 松木栄三著、風行社、2018年	
133	第五章 二一世紀のイスラエル	『【中東大混迷を解く】サイクス＝ピコ協定 百年の呪縛』 池内恵著、新潮選書、2016年
134		『イスラエル vs. ユダヤ人－中東版「アパルトヘイト」とハイテク軍事産業』 原著2021年、シルヴァン・シペル著、林晶宏訳、明石書店、2022年
135		『イスラエルの起源－ロシア・ユダヤ人が作った国家』 鶴見太郎著、講談社選書メチエ、2020年
136		『エルサレムの20世紀』 原著1996年、マーティン・ギルバート著、白須英子訳、草思社、1998年
137		『近東の地政学－イスラエル、パレスチナ、近隣のアラブ諸国』 原著2016年、アレクサンドル・ドゥフェ著、幸田礼雅訳、白水社文庫クセジュ、2017年
138		『黒い同盟 米国、サウジアラビア、イスラエル－「反イラン枢軸」の暗部』 宮田律著、平凡社新書、2019年
139		『世界史の中のパレスチナ問題』 臼杵陽著、講談社現代新書、2013年
140		『世界のエリートはなぜ「イスラエル」に注目するのか』 新井均著、東洋経済新報社、2020年
141		『地球の歩き方E 05 イスラエル 2019～2020年版』 学研プラス、2018年改訂第14版（1986年初版）

142	『知立国家 イスラエル』 米山伸郎著、文春新書、2017年
143	『日本人にとってエルサレムとは何か—聖地巡礼の近現代史ー』 臼杵陽著、ミネルヴァ書房、2019年
144	『脳力のレッスン—正気の時代のために』 寺島実郎著、岩波書店、2004年
145	『敗北を抱きしめて上・下一第二次大戦後の日本人』 原著1999年、ジョン・ダワー著、三浦陽一・高杉忠明訳、岩波書店、2001年
146	『秘録イスラエル特殊部隊—中東戦記1948年-2014年』 原著2015年、マイケル・バー＝ゾウハー&ニシム・ミシャル著、上野元美訳、早川書房、2018年
147	『もっと知りたい！イスラエルー古くて新しい国★イスラエルの旅』 平岡真一郎（文・写真）、エフ・エル・リンク、2017年
148	終章 ユダヤ人と日本人、そして二一世紀の資本主義とユダヤ 『新しい資本主義への視界』 寺島実郎著、岩波書店、2023年春単行本化（岩波「世界」連載「脳力のレッスン」から）
149	『人間と宗教—あるいは日本人の心の基軸』 寺島実郎、岩波書店、2021年